



札幌市立中央幼稚園

令和6年 6月17日 発行

研究だより No. 1

札幌市立幼稚園は、研究実践園として幼児教育の**今日的課題等をテーマ**に実践研究を行っています。研究を通して子どもにとって大切な経験～**遊びを中心**とした生活の中で**自分らしさを発揮しながら**、「**やってみたい!**」という思いを実現する、友達との関わりを通しての**育ち等の幼児期の学び**を確かめたり考えたりしています。**研究アドバイザーの先生による助言を研究に生かして**、その成果をお便りやHP、地域公開保育等を通して発信してきたところです。



幼児教育センターホームページでは、研究実践園の取組をご紹介します。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/youjikyoku/yousenn/kennkyuu.html>



研究副主題

豊平区・清田区
多様な教育・保育環境
(長時間保育の実践)

白石区・厚別区
遊びを通した
幼児期の学び

西区・手稲区
特別支援教育

北区・東区
幼保小連携・接続

中央区・南区
家庭教育支援

5つのテーマの保育実践研究
札幌市の幼児教育を取り巻く状況、特徴、課題から

研究主題



質の高い幼児教育の実現に向けて
～つながる ひろがる
札幌市の幼児教育～



研究便りの発行



研究アドバイザーを講師
とした学習会



2区協働した研究



研究協力校との合同研修

令和6年度は、3カ年計画で取り組んできた**研究主題「質の高い幼児教育の実現に向けて～つながる ひろがる 札幌市の幼児教育～」**のまとめの年となります。

札幌市の目指す質の高い幼児教育～**幼児期にふさわしい生活の中で子どもがしてみたいことが叶い、その子らしさが発揮され、子どもが主体的に生活できる幼児教育～**に向けて、子どもを取り巻く全ての人がつながり、学びがつながり、子どもたちの未来へつながり、ひろがっていくことを願い保育実践研究に取り組みます。引き続き、地域の皆様へ保育実践の成果をお伝えするとともに、5つのテーマの3年間の実践をまとめ、成果物を配布していく予定です。どうぞよろしくお願いいたします。





2区で協働して研究を推進しています

中央区
札幌市立中央幼稚園

南区
札幌市立もいわ幼稚園

副主題：園と家庭が一体となって子どもの育ちを支えるために

重点について

『遊びや生活を通した学びや一人一人の幼児の育ちについて家庭と一緒に考えていくために』

中央幼稚園では『やってみたい！を自分で考えて実現しようとする子ども』を目指して遊びや生活を通した学びや幼児の育ちについて考えていく中で、幼児の見取りや必要な大人の関わりなどを園と家庭で共有したり一緒に考えたりしながら研究を深めていきます。もいわ幼稚園では、幼児に必要な遊びや生活、保護者と一緒に取り組むことで見られた幼児の変化などを共有し実際に姿を見てもらうことで、保護者が幼児の育ちを感じたり、保護者自身が子育ての手応えを感じたりできることを目指して研究を進めていきます。



研究アドバイザーのご紹介

北海道大学大学院教育学研究院 附属子ども発達臨床研究センター
准教授 川田学氏
専門領域：発達心理学、保育学

研究の内容

研究の内容と方法について

今年度の重点
遊びや生活を通した学びや一人一人の育ちについて
家庭と一緒に考えていくために



中央幼稚園

目指す幼児像に向かう中で

『やってみたい！を自分で考えて実現しようとする子ども』を目指して、幼児の育ちに大切なことや園や家庭でできる大人の関わり方を明確にしていきます。



やってみたい！

もいわ幼稚園

研究の仮説を通して

『幼児に多様なヒト・モノ・コトに出会える機会を設け、遊びや生活を通した学びや一人ひとりの育ちについて家庭と一緒に考えていくことで、幼児が遊びを通して豊かな経験を重ねながら、主体性を育んでいく姿につながるのではないかと』という仮説から検証していきます。



園と家庭で一緒に取り組んでいこう！

研究の方法

<中央区>

- 園の願いと保護者の思いを共有し保育に活用

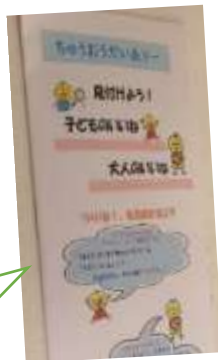


実践事例を研究便りで紹介し、保護者の感想も集めます。

週案に家庭との連携エピソードを記入し保育研究で検討します。

- 子育てのヒントにつながる保護者向けダイアリーの作成、発信、紹介

ちゅうおうだいありー



- 保護者同士の情報交換、つながる場をつくる工夫

**保育参加
遊ぼうデー**



**研究アドバイザーによる
保護者向け座談会**

<南区>

- 親子で一緒に体験をすることができる機会の保障

普段の遊びや幼児の興味関心の発信

親子栽培やぽっぽ祭り、運動会などの行事の持ち方や機会の工夫

- 一人一人の幼児、保護者を丁寧に見取り、育ちを共有

事例研究を通して幼児の育ちを捉え、保護者にもフィードバックします。



- 幼児期の遊びの大切さ、遊びから学んでいることを保護者と共有
- 保護者の関わりによってどのような育ちが見られたかを探ります

**保育参加
遊ぼうデー**



保育参加について実際の取組を研究アドバイザーの先生見てもらい、アドバイス等をいただく予定です。

